

ScanWaveLite 一発変換 Tool

Version 1.0

インストラクションガイド
基本操作ガイド

はじめに

この度は、ScanWaveLite 一発変換 Tool Ver1.0 を御購入頂き、誠に有り難うございます。
ScanWaveLite 一発変換 Tool Ver1.0 のインストールを行う前に、本冊子をお読みください。
この冊子には、次の情報を記載しています。

- 本書の見方
- 目次
- 基本操作ガイド

本書の見方

本書は、ScanWaveLite 一発変換 Tool Ver1.0 のインストールと起動方法、基本的な機能を使用したラスタの読み込みから DXF ファイルへの保存までの手順を説明しています。読み込んだラスタの状態により、必要としない機能も記載していますのでご了承ください。

表記上の規約

- ◆ [] ……メニューの項目名
- ◆ < > ……ダイアログ内のボタンの名称、アイコンの名称
- ◆ 「 」 ……ダイアログ内の設定内容
- ◆ ……メニュー、ダイアログ等で選択、入力する場所
- ◆ 注 ……各機能、設定内容等で注意すべき点を記載

基本操作の主な流れ (P4 以降に記載している操作手順)

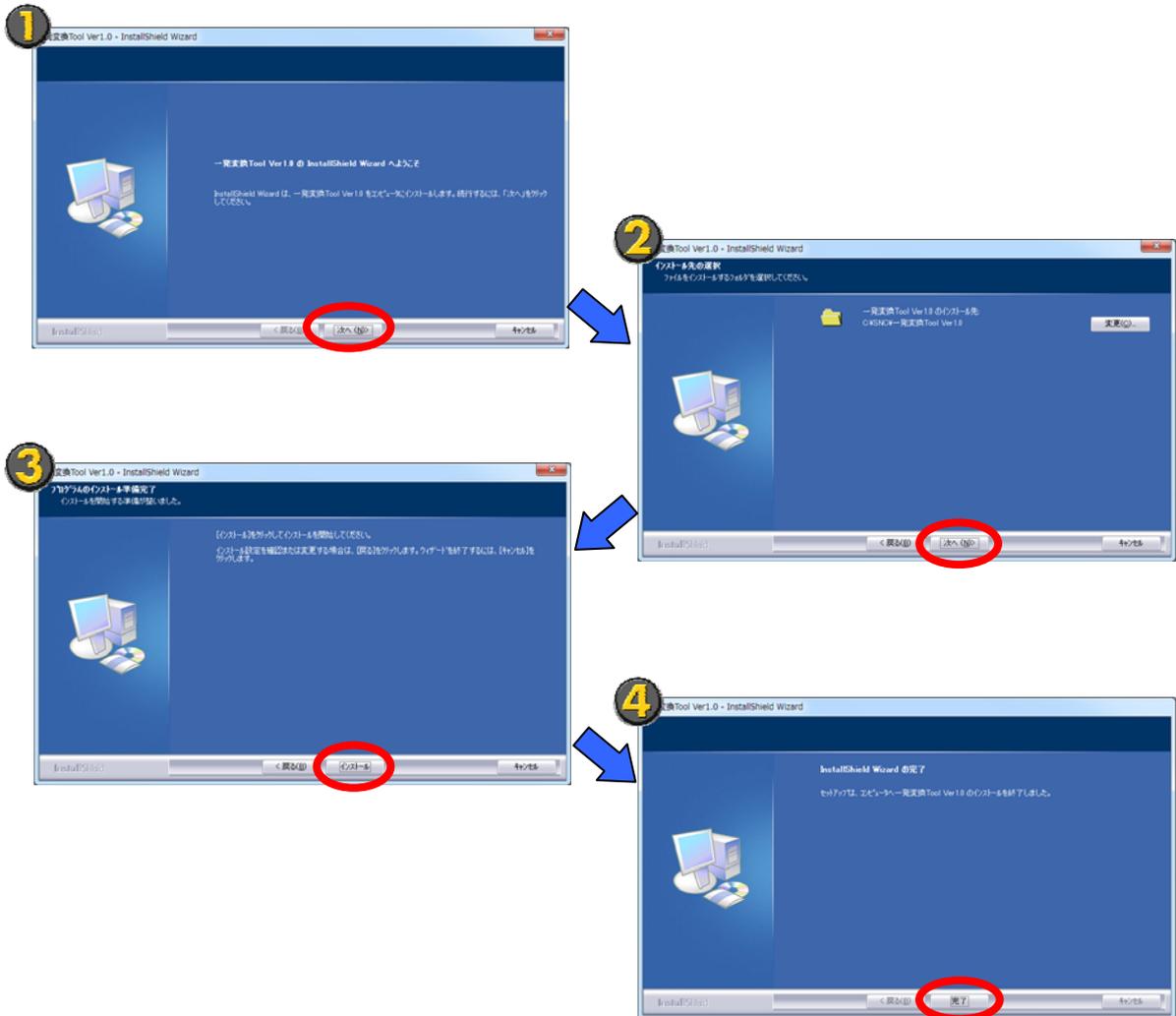


目次

1. インストール	3
2. コマンドライン設定	4
2-1 コマンドライン設定	6
コマンドライン設定の作成	6
コマンドラインの名称変更	7
コマンドラインの削除	8
2-2 ラスタ編集	9
コマンドの設定	9
コマンドの削除	11
コマンド実行順序の変更	12
2-3 変換設定	13
2-4 DXF 保存先	14
3. ラスタベクタ変換	16
3-1 ファイルドラッグ	16
3-2 フォルダドラッグ	16

1. インストール

- ① CD-ROM を CD ドライブに挿入します。
- ② 自動実行機能により、CD-ROM を挿入するとすぐにインストール処理が開始されます。以下の順番で画面が表示されますので、それぞれ必要項目を入力して〈次へ〉ボタンをクリックします。



注 インストール処理が開始されない場合は、CD ドライブを指定した後に、「Autorun.exe」をダブルクリックしてください。

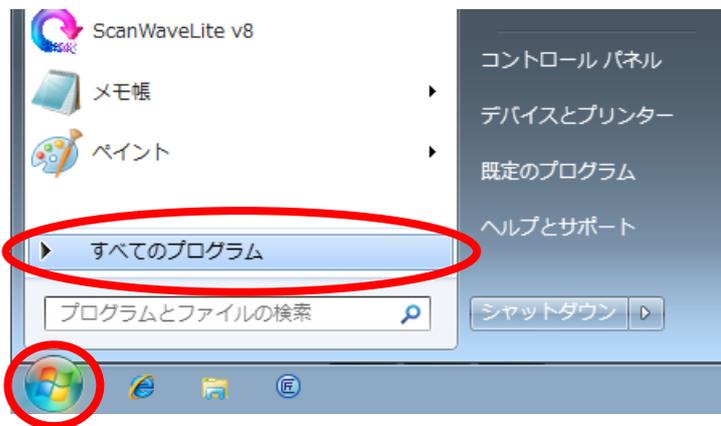
2. コマンドライン設定

デスクトップ上にあるアイコン（一発変換 Tool Ver1.0）をダブルクリックします。

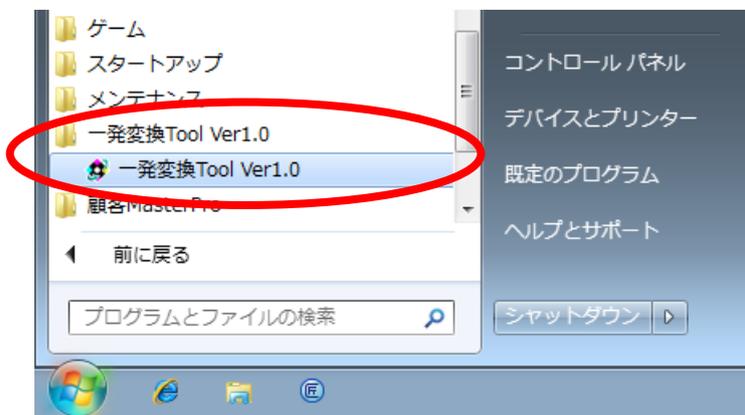


または

- ① タスクバーの [スタート]（スタート） – [すべてのプログラム] をクリックします。



- ② [一発変換 Tool Ver1.0] – [一発変換 Tool Ver1.0] をクリックします。



③ 『コマンドライン設定』 ダイアログボックスが表示されます。



2-1 コマンドライン設定

コマンドライン設定の作成

- ①  をクリックします。



- ② “□新しいコマンドライン設定” が作成されます。



- ③ コマンドライン設定の名称を入力し、〈ENTER〉キーを押します。



コマンドラインの名称変更

- ① 変更するコマンドラインを選択し、 をクリックします。



- ② コマンドラインの名称を変更し、〈ENTER〉キーを押します。

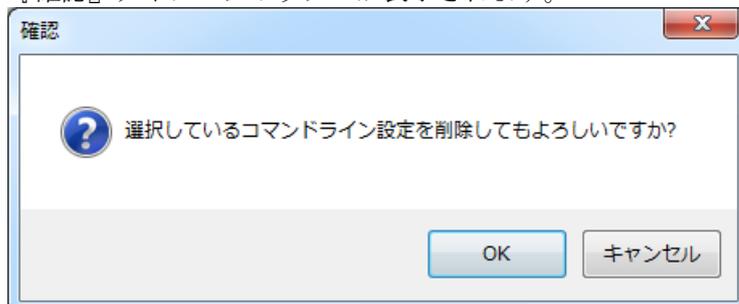


コマンドラインの削除

- ① 削除するコマンドラインを選択し、 をクリックします。



- ② 『確認』ダイアログボックスが表示されます。



- ③ 〈OK〉をクリックします。

2-2 ラスタ編集

ベクタ変換時に実行されるラスタ編集の各種コマンドを設定します。

コマンドの設定

- ① [ラスタ編集] タブをクリックします。



- ② ベクタ変換時に実行させるコマンドを選択します。



③ コマンドの実行回数を設定します。

実行回数を増やす場合は  を、減らす場合は  をクリックします。

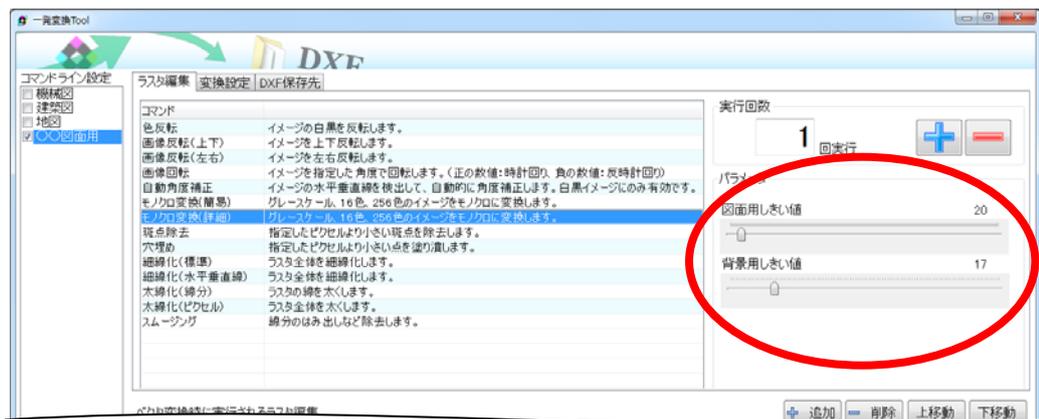
直接入力することも可能です。



④ 必要に応じてパラメータを設定します。

● “モノクロ変換（詳細）” を選択した場合

スライダーを移動して、値を設定します。



- ⑤ **+** 追加 をクリックします。

「ベクタ変換時に実行されるラスタ編集」一覧にコマンドが追加されます。



コマンドの削除

- ① 「ベクタ変換時に実行されるラスタ編集」一覧より削除するコマンドを選択し、**-** 削除 をクリックします。



コマンド実行順序の変更

① 「バクタ変換時に実行されるラスタ編集」一覧より順序を変更するコマンドを選択し、

上移動 または、**下移動** をクリックします。



2-3 変換設定

変換設定をすることで、図面の種類に対して適切な変換値でベクタ変換することが可能です。

- ① [変換設定] タブを選択します。



- ② 適切な図面の種類を選択します。



- 建築図
- 電気図
- 機械図
- CNC 断面図
- 地図
- 等高線図
- スケッチ

多数の短い線分で構成されたラスタをトレースします。

- アウトライン

塗りつぶし部分をアウトライン化します。

●ユーザ設定

変換設定を任意に設定します。

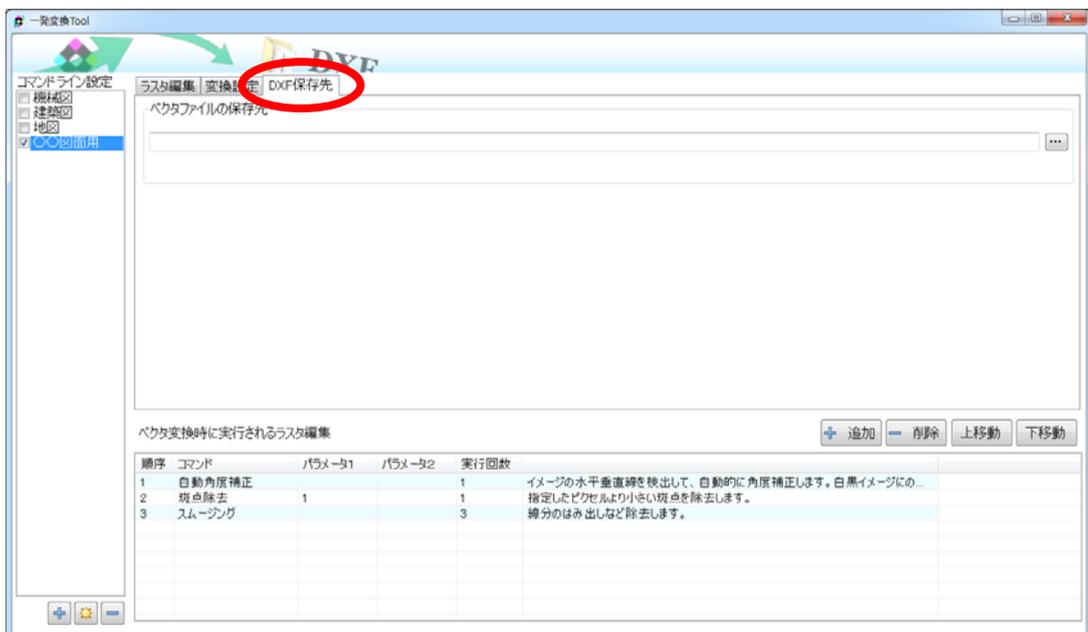
●塗り潰し

作成されたベクタは、平行な水平線で作成されています。塗りつぶし部分を含むロゴやイラストなどを変換します。ファイルサイズは大きくなります。

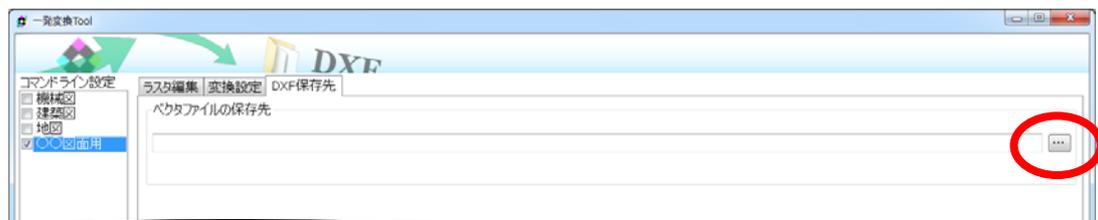
2-4 DXF 保存先

変換後のベクタファイルの保存先を指定します。

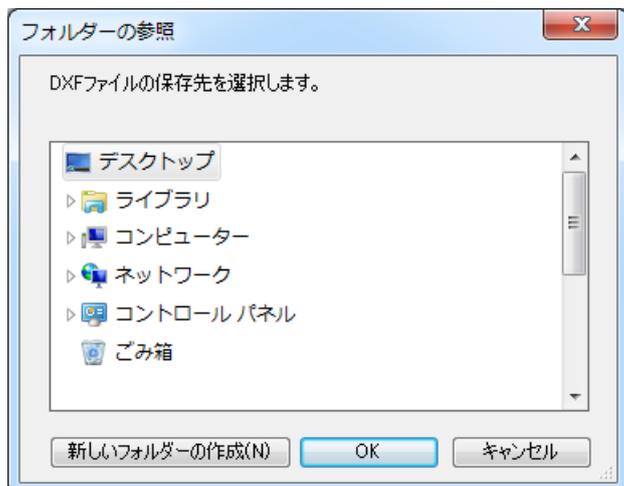
- ① [DXF 保存先] タブを選択します。



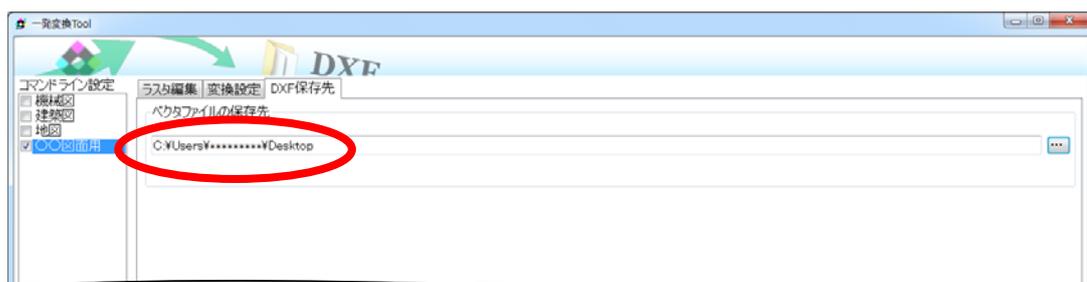
- ② ... をクリックします。



- ③ 『フォルダーの参照』ダイアログボックスが表示されます。



- ④ ファイルの保存先を指定して、〈OK〉をクリックします。
⑤ 指定した保存先のパスが表示されます。



注 フォルダが選択されていない場合、または指定したフォルダが存在しない場合、変換元のファイルと同じ場所に保存されます。

3. ラスタベクタ変換

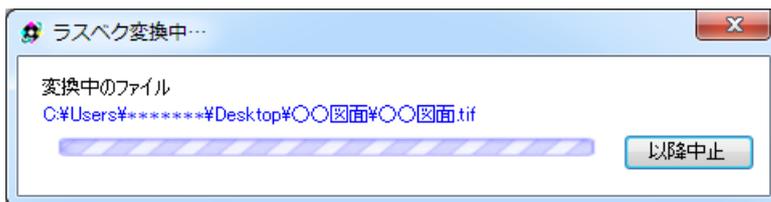
3-1 ファイルドラッグ



- ① 変換するラスタファイルを **一発変換Tool Ver1.0** にドラッグアンドドロップします。



- ② 変換が開始されます。



注 〈以降中止〉をクリックすると、変換を中止します。

- ③ 指定した DXF 保存先にベクタファイルが作成されます。

3-2 フォルダドラッグ



- ① 変換するラスタファイルの格納されたフォルダを **一発変換Tool Ver1.0** にドラッグアンドドロップします。



- ③ 変換が開始され、指定したDXF保存先にベクタファイルが作成されます。

ScanWaveLite 一発変換 Tool

基本操作ガイド

発行

株式会社システムズナカシマ

2013 年 5 月

初版発行

落丁、乱丁はお取替えいたします。